



揮毫：高見廣流（高見広宣〔昭和57卒〕）

三綱領  
正倫理  
明大義  
重廉恥  
振元氣  
磨知識  
進文明

### 濟々覺 覺 覺 歌

山形元治 作詞  
猪瀬久三 作曲

一 碧落揚げば偉なる哉 渦巻く煙幾百丈

世界一てふ大火山 我等の意気を示さずや

銀杏城東龍山の 翠を占むる濟々覺

滾々尽きぬ白川に 宏壮偉大の影うつす

二 往昔懐へば遠き哉 同心の友集りて

道を講ずる一茅舎 金石透す赤誠の

心筑紫の杜鵑 声は雲井に聞えてや

恩命一下我覺の 無比の光榮銘せよや

三 終始一貫渝らざる 教は知れよ三綱領

清明、仁愛、剛健の 三徳之れがもと、なる

ふりさけ見れば碧万里 朝暾出でんず大海原

宇宙の偉觀清新の 景趣はやがて我理想

四 あ、藤肥州の領せし地 あ、感公の治めし土

無限の恩沢に民浴し 流風余韻尚存す

歴代菊池の忠烈は 栄を桜花と競ふなり

天地万象皆わが師 進まん理想の目標に

〈発行元〉

濟々覺関西地区同窓会事務局

〒532-0011 大阪市淀川区西中島3-12-15

第5新大阪ビル502 株式会社ラフ 関西支社内

TEL:080-1414-8405(岡本) FAX:06-6101-5572

E-mail: seiseiko\_kansai@yahoo.co.jp

Facebook: seiseiko.kansai.official

濟々覺 関西 www.seiseiko-kansai.com



# 多士 関西

題字揮毫：高見廣流（高見広宣〔昭和57卒〕）

濟々覺関西地区同窓会会報



巻頭インタビュー

1

阪神タイガース

## 大竹耕太郎 投手

令和4年度  
濟々覺関西地区同窓会  
総会の開催報告

5

青年会活動の報告

6

就活セミナー開催報告

7

54会の活動紹介

9

個人事業主紹介

10

先輩OBの雑感

11

関西各地域多士会の活動報告

12

会長挨拶

14

編集後記

14

2023.7

復刊

No. 15





巻頭インタビュー

# 大竹耕太郎投手が 関西にやってきた!

(取材:木村俊介[昭和61卒]・瑞穂賢治[平成3卒])

阪神タイガース  
大竹耕太郎投手 [平成26卒]

## PROFILE

生年月日: 1995年6月29日(27歳)

出身地: 熊本市南区

野球経歴: 田迎小4年時から野球を開始。託麻中3年時全国大会出場。済々黌2年夏・3年春甲子園出場。早稲田大では1年時から活躍。育成ドラフトでソフトバンク入り(18-22年)し、10勝9敗を挙げる。現役ドラフトで23年より阪神タイガースへ移籍。

## 開幕ダッシュ

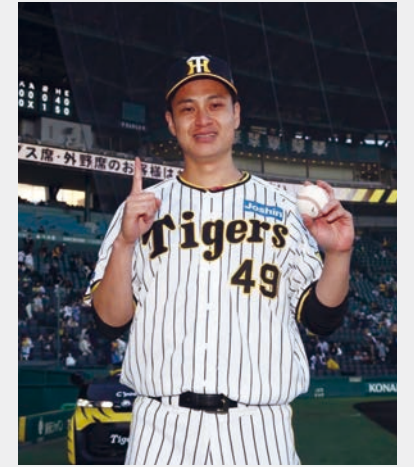
ペナントレース開幕後、2勝目を飾った日から5日後(4/24)、夕方のトレーニングを終えた大竹選手は、リラックスした面持ちで現れた。昨年12月9日に現役ドラフトが行われてから4か月。チームが変わり熾烈な先発ローテーション争いを勝ち抜き、いきなり先発2連勝と確実にチャンスを抑えている。「昨年との違いは、気持ちに余裕があること。初戦前日も帰宅は夜12時。以前ならば1軍戦の前日に気負いがあったが、今は平常心で臨んでいる。技術面では、ホークスの和田選手、精神面では、西(勇)選手や青柳選手からアドバイスを受けている。」先輩達の言葉には、彼への大きな期待が詰まっている。彼はその期待をバネに確実に飛躍を始めている。

## 関西での生活

「今住んでいる場所は山と海があり立地条件は福岡に似ている。調子が悪い時は六甲山系の山手で散歩したり、芦屋の温泉でリラックスしている。食事は普段一人で外食することが多く、選手と一緒にいる時は焼き肉屋が多い。今住んでいる西宮はラーメン屋が多く、好きなジロー系ラーメンは週1回通っている。又、やよい軒やジョリーパスタ、迷ったら王将に行く。帰宅後、タンパク質補給の為ふるさと納税返礼品のチキンを



焼いて食べたりしている。時には電車1本で福島等大阪市内に出て、おいしいお店を開拓している。食事は量にこだわっている。これはホークスの和田選手のアドバイスで、1月の合同合宿の際は、コース料理4人分ぐらいを2時間で食べることをノルマとされ、ランニングよりも辛い思いであったが、体重を76kgから95kgまで増やすことができた(現在のベスト体重は89kg)。以前の登板時は緊張で食が細くなり体重を落としていたが、食べる量の水準が上がったことで1年間を通して体重が減らなくなった。その恩恵としてボールに重みが増し、フォームに安定感が出てきた。」



## ホークスとの違い

「観客の応援の違いを感じた。福岡ドームの観客はしっとりした感じ。一方甲子園の盛り上がりはもの凄い。特に“あとひとり”コールの**球場全体の熱狂**は半端ない。又、球場にいる**メディアの数**が尋常じゃない。1つのメディアで担当者はひとりではなく、ピッチャー担当や野手担当に分かれていて、顔を覚え切れない(笑)。技術面では、ホークスはボールの回転数など数字を重視する。自分としてはそれに逆行し**目に見えないもの**を極めていきたい。それが最先端だと思っている。130kmでも打たれないし、160kmでも打たれる。岡田監督はそれを理解されていて、スピードにこだわらないというチームの雰囲気が出来上がっているのだから投げやすい。ホークスはスピードガンの数値が評価基準の為、バッターではなくスピードガンに気をつけて投げてしまう。その結果、力んでスピードは出ないし打たれる。だが今の方がスピードは出る。」これはホークスに限った話というより“技のセ”“パワーのパ”の野球の違いが根にあるのかもしれない。「最近好きな言葉は“**不利益**”。不便だからこそ得られる利益。阪神はホークスほどデジタル重視ではなく答えがすぐわからないので自分で突き詰めていく。例えば試合の動画を見る場合、フォームのチェックはしない。配球と投げた場所を確認するぐらい。自分のフォームで投げるといって、**今日の体に合った投げ方**で投げている。ホークス時代はスピードが遅いことばかり言われたので自分はダメだと心が折れていたが、阪神に来たら、コントロールが良いと褒められる。今までこれほど褒められたことはない。自分の居場所を見つけた感じがする。」





## 野球道

彼の野球への取組む姿勢で興味深いのは、あらゆることを野球に結び付け昇華するところ。「今、合気道を習っている。道場でやるガチなものではなく、修行をしていた人が芦屋に住んでいて、40歳手前で金髪だが(笑)、合気道的なトレーニングを週1回教わっている。“間合い、目線意識、意識を自分から外側に外す”等が野球に活かしている。例えば“こういうフォームで投げる、フォームのために投げる”というのは、状態がよくない証拠。そうではなくバッターに意識を飛ばす。ここで打たれたらという内向きの意識からどうバッターを抑えようかという意識に変える。」彼の“道(どう)”はこれに留まらない。「趣味の1つはウクレレ。大谷楽器の濟々覺の先輩から欲しい楽器を聞かれ、できそうな楽器はウクレレぐらいしか思い浮かばずウクレレを頂いた(笑)。キャンプの時持参して、外出禁止なのでウクレレの勉強をしたが楽しい。野球のことを考えない時間の引き出しの1つとしてウクレレは大切なものになった。」いつか同窓会のゲストとして牧伸二の『やんなっちゃった』で漫談をやってもらおう。「それから生け花。花瓶が家に3つあり、花屋さんに行きその時欲している花を買って、どうレイアウトするかを考える。野球のことを忘れる時間があるから、試合の時集中できる。また、毎日花の状態を見ることは、バッターの構えの変化を見るのに役立っている。茶道もやっている。合気道をやっている中で茶道をやると、意識をどこに持っていかとか、どういうお辞儀をしたら綺麗に見えるとか、意外に野球に繋がっていく。茶道や合気道は人間形成に繋がっているが、野球も野球道として同じことが言える。失敗しても落ち込む必要はない。」見えないものを極める手段として様々な“道”を歩み、それぞれの道を一本に繋げて野球道としている。



## マウンド上の魔術師

「サインの基本は7種類。ストレート、カーブ、カット、ツーシーム、チェンジアップ、スライダー、フォーク。スライダーのサインは1つだが、横曲がり系、遅めのカーブ系、カットボール系等の種類が更にあり、それは自分で決めて投げている。ツーシームでも早いボールと少し遅めでドロンとしたボールもある。チェンジアップも120km台、110km台と種類がある。投げる時、ボールの握りは同じで導線をどうするかイメージを描くだけ。ゴルフと同じでものすごくフォームのことを考えて打ってもまっすぐ飛ばない。まっすぐ打つイメージで打つことが大切。」変幻自在の変化球に合気道の間が加わり打者を困惑させる、正に“マウンド上の魔術師”である。しかも魔術をかけるのはバッターだけではない。2勝目の広島戦での出来事。「1塁ランナー野間選手を牽制で刺したのも合気道。自分との間合いにランナーを入れるとこっち主導でランナーが動く。お互い意識を合わせ、牽制寸前に意識を切る。するとランナーも切れたと思って走る意識が変わり、そこで牽制球を投じてアウトにする。」実はマウンド上でハリーポッター顔負けのことが起こっていたのだ。ちなみに彼は Hogwarts 魔法魔術学校には通っていない。



©HANSHIN Tigers

## 甲子園

「高校野球で甲子園に出場して10年経った。高校当時の鮮明な記憶はあまりなくぼやっとしている。しかし、甲子園に呼ばれて今ここにいる感覚がある。そういう運命を感じる。4/15DeNA戦が雨で流れて甲子園での広島戦になった時もそう感じた。甲子園は広くピッチャーに有利。福岡ドームの外野ポール間は30秒で走れるが、甲子園だと40秒かかる。それぐらいの違いがある。広いから左バッターに対して強気でインコースを攻めることができる。ライトは逆風でホームランにはなりにくく、バッターも配球をわかってインコースを狙ってくるが、あえてそこで勝負する。」彼にとって理想の球場といえる。ホークス時代は1軍登板が少なく悔しい思いをしたであろうが、甲子園のマウンドが彼を導いた。賽は投げられたのだ。ルビコン川いや夙川を渡り、甲子園という檜舞台上で、今後数多くのバッターが彼の魔術にかけられていくであろう。がまだせ!耕太郎!

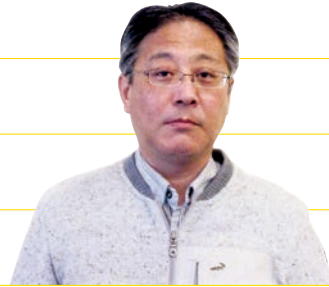






## 令和4年度 濟々覺関西地区同窓会総会の 開催報告

総会実行委員長 藤山博邦 [平成3卒]



コロナ禍で残念ながら2年連続で中止となっていた「総会」が、令和4年度は開催時期を例年の5月から10月に変更し3年振りに開催されました。(令和4年10月8日)

令和4年度は濟々覺創立140周年の節目の年でもあり、何とか開催できないかと総会実行委員会では感染症対策を含め入念に準備し、漸く開催に漕ぎつけることができました。結果、ホテル日航大阪に於いて、来賓の方々も含め131名の方の参加となり、会場では会員同士、久しぶりの再会を喜ぶ場面も見られ、140周年に相応しい形での開催となりました。



**第1部 総会** — 例年に加え、3年振り、かつ140周年の年の開催であることを強調した次第で遂行されました。

**第2部 講演会** — (株)ヘルプズ・アンド・カンパニーの西村栄一先輩[昭和60卒]に『「認知症になってラッキー!」と言える社会の作り方』と題して講演頂きました。

**第3部 懇親会** — ご来賓の12名の方の紹介と傘寿を迎えられた先輩方16名の紹介のあと、最高齢の園田耕造先輩[昭和27卒]の乾杯の音頭で歓談がスタートし、途中、学生会員の登壇・紹介や、寄贈された日本酒「吉祥瑞鷹」や金屏風三綱領の作者 高見廣流氏[昭和57卒]、140周年の記念誌「多士関西」に寄稿頂いた諸先輩の登壇インタビューとあり、会場の雰囲気も一段と華やかなものになりました。

さらに140周年を契機に発足した「5地域多士会」の登壇・紹介があり、今後の関西地区同窓会の新たな展開も期待されます。

フィナーレーは講演頂いた応援団OBの西村栄一先輩のリードで、マスク着用ではありますが、久々に皆集まって鬨歌斉唱。

最後に、副会長の畝田和實先輩[昭和46卒]から「次の150周年に向けた進発」との力強い呼びかけで閉会となりました。



## 青年会活動の報告

青年会会長 佐々 允 [平成21卒]



こんにちは! 関西濟々覺青年会会長の佐々[平成21卒]です。青年会とおじさん?の集まりと思う方もいるでしょう!笑 そんなことはありません!

青年会とは大学生から主に30代までの社会人からなる若手の集まりなんです。近年はコロナ禍のためなかなか活動ができていませんでしたが、状況が徐々に回復してきたこともあり、2022年12月17日に久しぶりにイベント(忘年会)を開催することができました。濟々覺若手の行きつけのお店「居酒屋 本陣」にて総勢17名が集まり、久しぶりの再会に大いに盛り上がりました。

学生の発案により、トランプゲームなどを通して、年代を超えて交流をすることができました。会以降も個人的にご飯に行く間柄に発展するなど、大成功でした。

青年会は内輪の集まりではなく、行きたい時にふらっと集まれて、学生時代の話で盛り上がるができる会です。またそれだけでなく、時には就職活動の話、仕事の悩みを共有するなど真面目な一面も併せ持っています。

今後は以前のようにみんなでBBQをしたり、ただお酒を飲んだり、みんなで出かけたりして、関西での生活をより豊かなものにしていきたいと思っています。

私自身大学で関西に上京してきて早10余年が経ちますが、今では仕事もプライベートも色々相談できる同級生や先輩、遊びにいける後輩ができました。皆さんも是非参加してみたいはいかがでしょうか? 心待ちにしています!!



是非フォローしてね!

### 青年会 公式 SNS

青年会は入会手続き・年会費なし!  
ゆる〜っとワイワイ活動しています。

お問合先

会長: 佐々 允 [H21卒] 080-4113-3642  
副会長: 濱浦 隆昌 [H23卒] 080-1542-4542

instagram

同級生と出会うイベント、  
就活に役立つ企画など盛り  
だくさん!



LINE

公式LINEも  
チェックしてね。







# 就活セミナー 開催報告

最新の就活動向を  
共有しましょう!



組織委員長 三浦 壽夫 [平成12卒]

過去2回、前々回は、コロナの為に「中止」。

今回は「オンライン開催」となっていたが、今回、久しぶりに対面での就活セミナーとなった。

参加は、OBが6名、内定者が3名の9名となった。

当日、参加予定の3回生が体調不良で参加できなかったが、コロナを経て、最新の就活動向を共有できた。

## 内 容

1. 企業側の人事部経験者(クボタ:木村俊介氏[昭和61卒])から「企業サイドから見た評価ポイント」が話され、その実践的な内容は学生にとって、大いに参考になると思われた。
2. 続いて、内定学生3名による体験報告があったが、それぞれコンパクトに纏められていて、参考になった。
3. その後、本来は就活生から質疑応答があって、大いに盛り上がるステージであるが、該当の学生がなかった。次回は、就活生やその前の学生への参加を呼びかけたい。

コロナの影響で、学生諸君と接触の機会が無く、就活生を多く呼び込めなかった点が、今後の課題として残った。次年度からは、新人歓迎会などの行事を通じて、学生との接触を図り、14回も続いている行事を盛り上げていきたい。これを読んでいる学生の皆さん。先輩の話聴きに、是非三浦に連絡ください。



## 内定者の体験報告



立命館大4回生 中村 優志君 [平成31卒]

→ 株式会社テレビ西日本

### 良かった点

主に2つあります。1つ目は、社会の仕組みを知ることができた点です。様々な企業の説明会を受け、インターンに参加をし、社員の方々と話をすればするほど、それは見えてきます。私達が生活をするためには、様々な人が様々な立場で仕事をしています。社会が成り立つために、どのような仕事が存在しているのか「広く、浅く」学ぶことができました。2つ目は、同世代の努力する様々な仲間と出会えるところです。面接や説明会で出会う人は、ライバルでもありますが、彼らも一人一人必死に努力しています。そんな人達と日々出会う生活は刺激でしかありません。私の場合は野球一色の人生だったので、野球以外で活躍し、努力する人と多く出会えたのは本当に良い経験になりました。



立命館大4回生 野田 啓太君 [平成31卒]

→ 平田機工株式会社

### 良かった点

- ①小中高大と学生時代に多くの経験をしていたので、面接が毎回楽しかった。
- ②割と早めに就活を始めることができ、業種業界を多く知れたため選択の自由があった。
- ③ゼミや大学、高校の先輩方にまで指導していただいたこと。
- ④Amazonで照明とカメラを買ったこと。
- ⑤早め早めの行動がとれたこと。面接の予約は基本先着順。



関西大4回生 岩崎 葵さん [平成31卒]

→ 熊本朝日放送株式会社

### 就活を振り返って

強く感じたことは、ありのままの自分であることの難しさと大切さです。選考に落ちると自信を無くし、焦りが芽生え、会社の色に自分を合わせようとしたことがありました。自分が合わせに行った面接は全てうまく行きませんでした。一方で、自分がやりたいこと・考えていることが先行し、それをまっすぐに伝えることができた面接はうまくいくものです。就活は、自分のやりたいことを自由に考え、それを受け止めてくれる会社を探すパズルのようなもので、合うか合わないか、ひとつひとつ当ててみる作業だと思いました。自分の考えを堂々と言葉にできるように沢山の人と出会い、関り、沢山の本を読んで勉強すると未来が見えてくるのでは。





## 54会の活動紹介

藤田 淳 [昭和54卒]



濟々覺関西同窓会54会の藤田です。

54会は久我君をリーダーに、10名ほどのメンバーで活動しています。

久我リーダーが瑞鷹の大阪代表ということで、もっぱら活動の拠点は居酒屋、活動は飲み食いでありませう。しかも瑞鷹の酒をこよなく愛する大酒飲みの集いでありませう。学生名簿の写真に今昔の面影を忍び、笑い酔いしれる貴重な時間でありませう。

瑞鷹と言えは、昨年の140周年総会でも瑞鷹の酒が提供され、久我リーダーが盛り上げる挨拶をしてくれました。ありがとうございました。

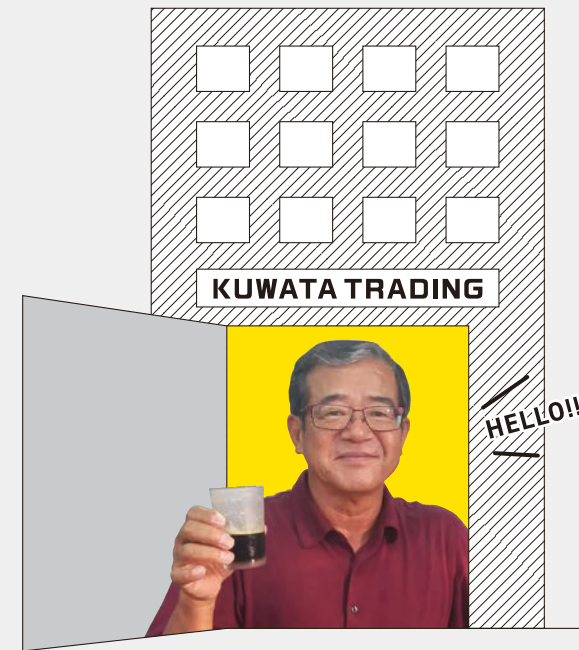
瑞鷹の話ばかりになりましたが、その他にもそれなりに活動しております。本田先輩を中心に関西の大学生の後輩への就活応援・激励会を継続されております。54会は就職活動から40年も過ぎておりますが、企業人としての経験や知見を、学生たちの小さな道標になればと、おせっかい活動をしております。総会で後輩が社会人として振舞っている姿は頼もしく頑張れと願うばかりです。

還暦同窓会はコロナ禍の影響で延期されたのが残念です。いつか全国の54卒が一堂に会し、旧交を温め、まだまだこれからの未来を語り合える日を楽しみにしております。



# 個人事業主 紹介

株式会社くわたトレーディング  
鋤田和實 [昭和46卒]



私は、大学卒業後大阪の中堅木材輸入会社に就職、当時は大不況の時代ながら、外材輸入の高揚期でもあり、輸入部配属となって東南アジア諸国の原木から製材品、そして加工品と扱う商品が時代と共に変わる中、肉体的にもハードで厳しい、また良き時代の33年間駆け足で勤めて独立。前の会社で営業支援として独自開拓したお客様が、得意先となって応援して頂いて、会社設立から3年目に法人化し、今年で15年目を迎えます。

主な商売は日本の家具や木工メーカーから、また資材問屋から注文を頂いて、主に東南アジアで半完成品までの材料を作らせ、それを直輸入して、お客様に繋いで販売するやり方です。

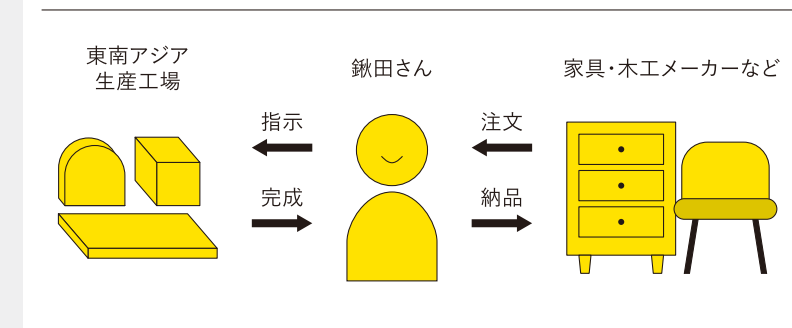
只ここ3~4年は、コロナ感染で日本だけでなく、生産国の東南アジア諸国も苦しみ、その後のウッドショックと超円安が合わさり、材料費の高騰分をそのまま転嫁できるかどうかには、まだまだ時間が掛かる模様です。

先ずはお客様と一緒に歩むべく緩やかに前を向いて頑張っています。

去年1月、長年痛めていた両膝の人工関節置換手術とリハビリでの3週間入院で、体重も減り、より健康体となりました。同じ痛みを持つ妻とのリハビリを兼ねての散歩で新たな2人3脚を感じています。

これからも社会貢献に励むべく同窓会やマンションの管理組合等も含めて積極的に参加し、人生終わってなんぼと誇れるように頑張ります。

### お仕事の流れ



### OFFICE DATA

株式会社くわたトレーディング

#### 事業内容

木材に関する国内仕入れ販売及び得意先への海外仕入れ繋ぎ販売を主体としています。木材内容としては国産及び海外産材で、原木、製材品及び加工品までの取扱い。



米

# TVのCMを見て思う事。



泉 昭太郎 [昭和36卒]

近頃、TVで見るコマーシャルで昔の事を思い出した。

「CMでは、お米の糖質が口に入らぬように炊飯中に分離できるものさそうだ。その糖質は驚くほどの量だと強調している」

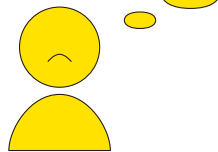
他方思い出す事柄と言うのは昭和30年代の半ばころの事であるが、私も含めて疲れて動きたくない状態のとき、臀部に大きな注射器で糖としては最も吸収し易いブドウ糖を注射してもらっていたものだ。

国内の栄養状態が悪かったのだが良くなったと言ってしまうとそれまでだが、何か引っかかりを感じていた。

考えていたら二つの大きな事柄に気が付いた。

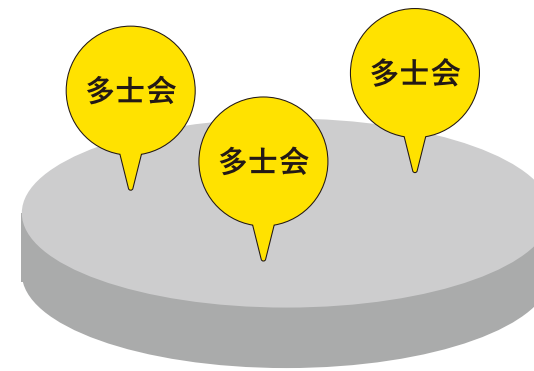
**1**  
現在の事であるが、地球上で食糧不足により苦しんでいる方々が大勢いるのに、摂取する食事は量を変えずにその一番の栄養部分を捨ててしまう文化を育てて良いものか？  
むしろ分離した糖質を利用して全体の摂取量を減少させる工夫をして、食料危機に対応すべきではないのか・・・。

**2**  
日本の歴史に絡むのであるが、黒船が来た後とある人が工夫してよく似た船を造ってしまった。この人は何と提灯を造る人であったという話を何かで読んだ記憶がある。この事には次回来日した黒船の方達は驚いたそうさ。その頃の日本人の識字率は世界一だったとのことをご存知だろう。  
その他も色々な話をもとに推測すると、日本人の頭の回転はおそらく識字率と同じように素晴らしかったのだろう。この頭の回転には糖質が必須のはずである。この頃の日本人の食事は殆どが米で、糖質充分の生活だった故に頭の回転が良かったというのは即断過ぎるかもしれないが、その様に思えて仕方がない。



現在日本の技術力が右肩下がり気味という話を時折見聞きするが、糖質を減らし洋風の食事にしてきている所為かと思うのは極端すぎるのだろうか？

余談になるが、以前設立したVBの会合で堀場雅夫最高顧問と話したことだが、「日本では米を粉にして利用する文化は発展していないなあ・・・。」と言う事に対して、米以外の穀類をそのまま煮炊きして食するのと比較にならないくらい米の方が美味しいからと言うのが結論だった。



昨年、創立140周年を契機として、各地域の「多士会」が発足しましたが、少しずつ動きが出てきました。



幹事長 本田重寿 [昭和40卒]

## 関西各地域多士会の活動報告



★ North Osaka

### 大阪北多士会

#### 第2回世話人会

日時 令和5年3月21日(火・祝)  
12:00~14:30  
場所 うおまん西梅田本店  
参加者 7名  
内容 ● 今後の進め方について討議  
● 小笠原絵里さん[昭和55卒]から「ともに暮らす」プロジェクトの説明



★ South Osaka

### 大阪南多士会

#### 世話人見学会&忘年会

日時 令和4年12月11日(日)  
13:30~15:00~18:30  
場所 司馬遼太郎記念館  
難波の居酒屋  
参加者 7名  
内容 ● 司馬遼太郎記念館の見学(移動して)  
● 難波の居酒屋で忘年会







兵庫多士会

第2回世話人会

日時 令和5年4月8日(土) 12:00~14:00  
場所 神戸麦酒  
参加者 5名  
内容 今後の進め方



京滋多士会

花見会&懇親会

日時 令和5年3月26日(日) 11:30~15:00  
場所 醍醐寺  
参加者 5名  
内容 小雨の中、満開の桜を鑑賞



奈良多士会

花見会&懇親会

日時 令和5年3月25日(土) 10:30~18:00  
場所 大神神社・山の辺の道  
参加者 7名  
内容 桜の咲く山の辺の道を散策



会長挨拶

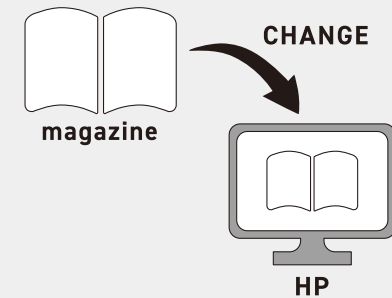
日頃の同窓会活動、ご苦労様です。  
昨年は、コロナ禍の状況下でしたが、140周年の行事関係も本覺の行事と併せ関西地区においても記念の「総会」が無事開催されました。  
参加状況は、来賓の方々を含め131名と当初の予想を上回る実績となりましたので、主催側としては安堵しております。  
迎えた新年度ですが、過去10年ぐらゐの活動を振り返り、デジタル社会の要請にも対応した形での活動が求められています。総会実行委員会も一部Zoom参加の会議となりましたし、会報の「多士関西」についても、一部の方にはホームページにアップした形での提供を検討しています。同窓会という組織も、社会の動きに追随した形での活動を目指していきたいと思っておりますので、引き続きのご協力をお願いいたします。



中村弘則  
[昭和41卒]

編集後記

2010(H22)年から復刻版として会報「多士関西」を発刊してきました。  
過去13年の実績がありますが、昨今、社会のデジタル化が進むと共に紙媒体での情報伝達の手法が最善とも言えなくなってきました。特に、若い人達にとっては、スマホ・SNS等での情報入手が主流となっていますので「会報が届いても読まない」といった声を聞いています。  
新年度から広報関係を担当することとなりましたので、まず会報について、若い年代に限っては、ホームページに掲載する形での情報提供を導入していきたいと思っております。また、会報の内容としても経費節減の観点からコンパクト化を志向していきますのでよろしくお願いいたします。



木村俊介  
[昭和61卒]

同窓会ホームページ: <http://www.seiseiko-kansai.com/>